

STUDIO MASTER SERIES
Stereo Sound
ANALOG RECORD
COLLECTION



メタルマスター・ダイレクトプレス
特別限定盤

テレサ・テン

《ベスト2》

アナログ・マスターテープ全曲使用
名エンジニア武沢茂、入魂のカッティング

時を超えて今なお心に届くアジアの歌姫の声。1音1音ごとに鮮やかな音彩が蘇り、胸高鳴るほどに艶やかで官能的な響きがあなたを染める。ステレオサウンドがお届けする洗練と優雅が香る30cmのアナログ音楽館に、いまふたたびテレサ・テンが舞い降りた。

A面にはミリオンセラーがならび、全てマスターテープからのニュー・カッティング版という贅沢。また、前作メタルマスター・ダイレクトプレス盤『テレサ・テン《ベスト》』はアジア諸国でも話題となり、そのリクエストにも応え、A面5曲目からは中国語歌唱による自身のヒット曲に加え、カバー曲や1982年香港クイーン・エリザベス・スタジアム収録の貴重なライブ録音曲という多彩なラインナップとなっている。

アナログ・マスターテープからのフラットトランスファー作業は、ユニバーサルミュージック合同会社のマスタリング・スタジオにおいて、日本コロムビア株式会社の名カッティング・エンジニア武沢茂チーフ立会いのもと、吉野謙志スタジオエンジニアの手に

よって行なわれた。オリジナル・アナログ・マスターテープは、厳正にチューニングされたスチューダー「A820」アナログテープレコーダーで再生され、デジタル・オーディオ・デンマーク社「DAD AX32」によってA/D変換されている。

アジアの歌姫が歌い上げた音彩の揺らがぬ再現は、美空ひばりや島倉千代子といった日本歌謡界の大御所のレコード制作に携わってきた武沢チーフの匠の技によって大いに意味づけられる。

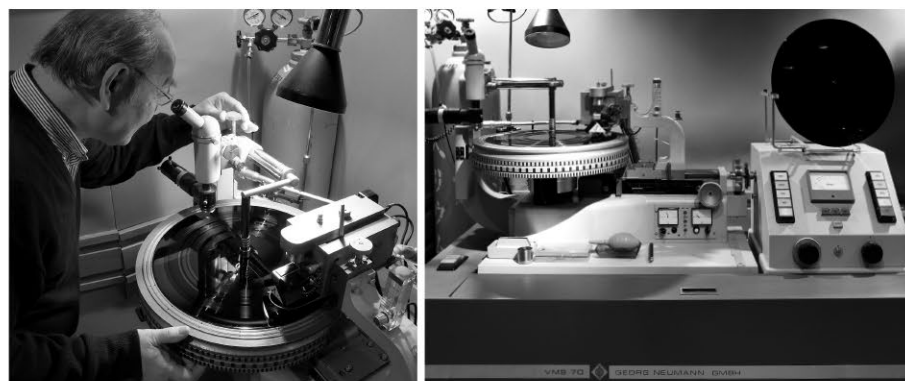
日本コロムビアのカッティング・スタジオに持ち込まれたマスターサウンドは、DCSの「DCS952」でD/A変換し、マスタリングを行なう。ここからノイマンのカッティングアンプ「SAL74B」を経由してカッティングマシン「VMS70」搭載の「SX74」カッターヘッドでラッカー盤を制作。今回のカッティング針にはヴォーカルのキレ味を求めながら、フラットでよりしっとりとした質感を得るために、米国TRANSCO製ルビー針を採用している。

マスターに収められている声のトーンや

質感、録音時の空気感を余すところなくレコードで再現するのが名匠の真骨頂だ。「細心の注意を払ったのは、中国語ならではのテレサのヴォーカルの子音の響きです。ここを最大限活かすために敢えてリミッターやディエッサー（ハイカットフィルター）を使わず帯域レベルをキープして豊かな響きを再現しました。このベスト2では前作の1曲1曲がシングルカットという考え方とは異なり個々の楽曲の流れに統一感を持たせ、トーンの繋がりも意識した作りとしています。曲想に寄り添いながら作業を進めたわけですが、これまで以上にテレサの情感が出ているように感じます。」(武沢)

名匠の粘り強く柔軟な手さばきによって、光と影を乱反射させるプリズムのように、歌姫の女ごころを響き出したメタルマスター・ダイレクトプレス。立ち上がる恋の運命と愛の覚悟。喜びと喪失の思い。目くるめく音彩空間のなかで、剥き出された神経のような繊細なテレサの歌声を聴取されたい。

文・堀切 日出晴



[共同企画]

株式会社ステレオサウンド
株式会社ステラ